



▲審査は難航

**肥大・食味ともに良好 梨極早生等温州みかん果実品評会**

9月20日、氷川町竜北物産館において、新高梨果実品評会が行われ、生産者より厳選した梨(新高)が出品されました。

品評会は、「一般の部」40点と「ジャンボの部」36点の2部門で行われ、竜北果樹部会梨部の古閑浩治部長や熊本県果樹技術者連盟八代支部会員らにより玉揃い、形、色、糖度などが審査されました。

今年は天候に恵まれ、大玉の果実づくりができています。ジャンボ賞を獲得した梨は2kgを超える重量で外観も良く、生産者も驚く出来栄でした。また、10月1日には、八代地方果実品評会(極早生等温州みかん)も行われ、

○新高梨品評会受賞者

(敬称略)

部門	入賞	氏名	地区名
新高一般	金賞	本田 忠行	本山
		古閑 保徳	中大野
	銀賞	木野 博詞	迫
		坂本 俊介	笹尾
	銅賞	庄村 俊治	中大野
		本田 満明	中大野
ジャンボ	ジャンボ賞	吉田 昭洋 (重量2,125g)	中大野

れ、「豊福早生」11点、「日南1号」7点、「肥のあけぼの」7点が出品され、JAやつしろ氷川柑橘部会長や熊本県果樹技術者連盟八代支部会員らにより、玉揃い、形、色、糖度・酸度などが審査されました。

氷川柑橘部会の前田会長は、「甲乙付け難い内容で、審査に苦労した。雨による影響も心配されたが、糖・酸のバランスも取れていて良かった。」と講評を述べられました。



▲一つひとつ糖・酸をチェック

○八代地方果実品評会(極早生等温州みかん)受賞者

(敬称略)

部門	入賞	氏名	地区名
豊福早生	金賞	古閑 浩治	中大野
	銀賞	西村 邦治	法道寺
		高山 勝明	立神
	銅賞	古閑 道行	中大野
日南1号	町内の入賞者なし		
肥のあけぼの	金賞	坂本 秀一	笹尾
	銀賞	西村 邦治	法道寺
	銅賞	古閑 浩治	中大野



▲おいしそう~

**氷川町の食材で料理に挑戦 担い手女性グループ料理講習会**

9月27日、氷川町文化センターにおいて、食肉利用料理講習会が行われ、氷川町担い手女性グループの26人が参加しました。

この講習会では、料理研究家の池部美恵子さんを講師にお迎えして、氷川町の食材とお肉を使って料理を作りました。この日のメニューは、和牛のヘルシーロースト、豚のロースとレンコンのチリソース炒め、ジンジャーエールなどで、皆さん熱心に説明を聞いていました。氷川町担い手女性グループの岡村会長に話を伺うと「みんなが喜んで食べてくれるのがうれしい。おいしく作るには手抜きをしないこと。」と、話されました。



▲心のかもった作文発表に聞き入る参加者

**健康に感謝 長寿を祝う 敬老会**

9月16日、氷川町公民館および竜北体育センターにおいて、敬老会が行われ、2会場で約1300人の参加がありました。

式典では、小学生による敬老作文発表や老人クラブ連合会による交通安全の誓いの宣言が行われ、その後、敬老会会長を代表して、老人クラブ連合会会長の村崎厚美さん(北鹿野)が「地域の温かいご指導のおかげで、今まで生きていくことができました。今後も健康で充実した日々を送っていきたくです。」と謝辞を述べました。式典終了後には、保育園など各種団体によるアトラクションが行われ、参加者からは笑顔があふれていました。



▲協定書をかわした藤本町長と古賀代表取締役

**災害時避難体制の整備へ 広告付き避難所誘導看板協定調印**

9月19日、役場庁議室において、広告付き避難所誘導看板に関する協定書の調印式が行われ、藤本町長と熊本県広告株式会社古賀勝徳代表取締役がそれぞれ協定書に調印しました。

これは、町内の指定避難所への誘導矢印などを表示した電柱看板にスポンサー名を表示することで、看板設置費用を賄うことを目的としています。

電柱広告に避難所誘導機能を付加することで、住民のみならず、来町者に対しても、非常時の誘導が可能になり、避難体制の整備推進につながることを期待されます。



▲体験発表をされた上田末男さん

**交通事故「ゼロ」を目指して 氷川町交通・地域安全推進大会**

9月20日、文化センターにおいて、氷川町交通・地域安全推進大会氷川町生活安全推進協議会主催が行われました。

氷川町老人クラブ連合会の上田末男さん(梅)による自身の交通事故体験発表や熊本県警察本部参事官の高山広行さんによる講演が行われました。体験型交通安全教室では、歩行速度を計測し、道路横断の状況を映像で表現する模擬実験が行われ、道路横断時の事故発生の危険性の高さに参加者は驚いている様子でした。

熊本県内の高齢者事故は減少傾向にあります。しかし、「ゼロ」を目指した取り組みが期待されます。



▲演奏会を締めくくった「牛深ハイヤ節」

**満月の夜に民謡響く 十五夜お月さん演奏会**

9月21日、文化センターにおいて、恒例の十五夜お月さん演奏会(氷川町文化協会主催)が行われ、200人を超す参加がありました。

今年は、全国的に活動されている民謡竹峰(ちくほう)流の福島竹峰さんらによる唄、三味線、太鼓などの演奏と踊りで、東日本大震災の被災地に向けた曲である「てんでこの唄」や、熊本県の代表的な民謡である「おてもやん」、「五木の子守唄」などが演奏されました。

演奏のたびに民謡ファンからは歓声や拍手が送られ、一緒に口ずさむ人もおり、会場は盛り上がりを見せていました。